



▲広域営農団地農道周辺の風車

風力発電施設は、現在、5基課税しており、現在建設中の15基程度については、今後調査の上課税していく予定である。

なお、これらの税収については、1千万の償却資産に対して年14万円程度の課税となる。

問：小野(文)委員

轟木から北金ヶ沢にかけて計画されている大型風力発電施設の進捗状況と既存の風車

問：藤田委員
深浦町では、民有林を維持・保全していくことが年々難しくなっているが、今年度から交付される森林環境譲与税の使途として、この状況を改善する対策に充当する必要があると思うが、どうか。

答：農林水産課長
設置業者の話によれば、これから建設される大型風車の稼働は、平成34年の予定で、最大30基建設が見込まれる。事業の進捗は、国有林の利用許可等の許認可手続の段階で、平成32年・33年の2か年で風車の製作工事等を実施すると承知している。風車の取得価格は約300億円と聞いており、完成後は20年間で約26億の税収を見込んでいる。



▲深浦町美術館に展示されている作品

問：工藤委員
深浦町美術館の所蔵品の数はどのくらいで、それらを保管する環境は十分に整えられているのか。また、常設展示の入替えの頻度を増やすことととも、子どもたちの絵画コンクール作品展を岩崎、大戸瀬両地区でも開催してもらいたい。

答：教育長・教育課長
現在までに美術館が収集した所蔵品は、絵画が329点、彫刻が48点、写真が274点、陶器が1点で、所蔵庫は満杯の状態であり、できるだけ良好な保管環境を整えたい。また、絵画コンクールの巡回展示は、委員の提言を参考に実施を検討したい。

問：小野(文)委員・工藤委員
風しん抗体検査が必要な対象者数は把握しているか。また、必要に応じて、速やかに予防

問：小野(信)委員
若者定住促進住宅の入居条件と家賃は、移住者にとって魅力的である。もっと積極的に町外にPRし、移住促進につなげてもらいたい。

答：建設課長
岩崎4戸、深浦3戸は既に入居済みで、家賃は、子供がいない世帯が4万円、子供1人世帯が3万円、子供2人世帯が2万5000円、子供3人以上世帯が2万円である。入居の優先順位の1番は、世帯全員が町外からの移住者、2番目が中学生以下の子供のいる世帯としている。ホーム

第98回定例会 予算に関する特別委員会 31年度一般会計予算を委員が問う 30年度補正予算



予算に関する特別委員会 委員長 石沢 秀幸

深浦町議会第98回定例会予算に関する特別委員会は、3月4日から6日までの3日間にわたり、平成31年度当初予算関係議案8件、平成30年度補正予算関係議案4件、条例の制定・改廃に関する議案16件、工事の請負契約の件1件、深浦町教育委員会委員の任命の件1件、合わせて30件について審議をいたしました。

審査過程においては、各般にわたり多くの質疑があり、活発な審議がなされました。主なものはこちらのとおりです。

委員長報告

【指摘・意見】
1 性質別歳出の中で投資的経費の割合が約10%となっているが、ある程度の公共事業も必要と思われるので、今後の補正等も検討すること。

2 昨今、頻繁にメディアに取り上げられる児童虐待の痛ましい事件を他山の石とし、強い決意をもって虐待根絶・防止の取組を強化すること。

【総括】
「強靱な故郷づくり」「地方創生」「平成、その先の時代の新たな国創り」等の実現に向けた国の施策、「アグリ」「ツーリズム」「ライフ」「グリーン」の各分野の強化により「選ばれる青森県」を目指すと、この事業の実施に向け、積極的な取組が望まれること。

委員会質疑応答

問：小野(文)委員
固定資産税の歳入が減少している要因は何か。また、風力発電施設の建設に伴う償却資産の今後の課税の見込みは。

答：税務課長
固定資産税の一番の減少要因は、船作地区の大型償却資産の減である。また、小型

代も恩恵を受けられるようにすること。

5 医療体制の確立に欠かせない医師確保に万全を期すること。

6 町立中学校の在り方について有識者会議等を早期に立ち上げ、保護者アンケートの結果を基に一定の方向性を示すこと。

また、議会も議決機関としての責務と役割の重大さを十分に認識し、スピード感を持って、町当局の政策実現を後押しして行くことが、「平成」に続く次の時代の町勢発展に不可欠であると考えるところであります。

本予算に関する特別委員会においては、活発な議論が交わされ様々な意見や要望が数多く出されました。

審査を付託された事件は、慎重審議を経て、全て可決・同意されたところであります。